

**製品名: NF-M ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14657**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	110kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NEFM
別名	NEFM; NEF3; NFM; Neurofilament medium polypeptide; NF-M; 160 kDa neurofilament protein; Neurofilament 3; Neurofilament triplet M protein
遺伝子 ID	4741.0
SwissProt ID	P07197
免疫原	抗血清はヒト NF-M 由来の合成ペプチドに対して産生された。アミノ酸範囲: 542-591

**背景**

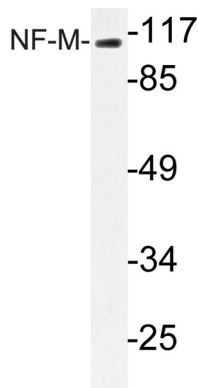
ニューロフィラメント中鎖ポリペプチド(NEFM) ホモ・サピエンス ニューロフィラメントは、軽鎖、中鎖、重鎖からなる IV 型中間径

フィラメントヘテロポリマーです。ニューロフィラメントは軸索骨格を構成し、ニューロンの直径を機能的に維持します。また、軸索や樹状突起への細胞内輸送にも関与している可能性があります。この遺伝子は中径ニューロフィラメントタンパク質をコードします。このタンパク質は、ニューロン損傷のバイオマーカーとして一般的に用いられています。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。 [RefSeq 提供、2008年10月]、機能: ニューロフィラメントは通常、ニューロンの直径維持に関与する3つの中間径フィラメントタンパク質 (L、M、H) から構成されています。、PTM: リン酸化は、より大きなニューロフィラメントポリペプチド (NF-M および NF-H) の機能において主要な役割を果たしていると考えられており、リン酸化レベルは発達に伴い変化し、ニューロフィラメント機能の変化と一致しています。、PTM: トリペプチド K-S-P の繰り返し配列が多数存在し、NFM はこのモチーフ中の多くのセリンがリン酸化されています。NFM のリン酸化は、軸索の直径維持に重要なフィラメント間架橋の形成につながると考えられています。、類似性: 中間径フィラメントファミリーに属します。、

## 研究分野

筋萎縮性側索硬化症 (ALS)

## 画像データ



NF-M 抗体を使用した MCF-7 細胞の溶解液のウエスタン ブロット分析。